



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月8日

上場会社名 オーミケンシ株式会社
 コード番号 3111 URL <http://www.omikenshi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石原 美秀
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 近藤 武彦
 四半期報告書提出予定日 2019年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 06-6205-7300

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	7,366	△0.3	162	△32.0	△239	—	△257	—
2018年3月期第3四半期	7,385	△15.1	239	—	100	—	77	—

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 △73百万円 (—%) 2018年3月期第3四半期 84百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	△41.49	—
2018年3月期第3四半期	9.34	—

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	26,846	—	5,724	—	21.3	—
2018年3月期	26,914	—	5,951	—	22.1	—

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 5,724百万円 2018年3月期 5,951百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
2019年3月期	—	0.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

- 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況につきましては、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。
- 2018年3月期の期末配当金は記念配当であります。
- 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。2019年3月期の期末配当予想額につきましては、現時点では未定であります。

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	11.8	300	3.3	100	△5.3	70	6.7	7.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。2019年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	6,602,459 株	2018年3月期	6,602,459 株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	4,773 株	2018年3月期	4,724 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	6,597,724 株	2018年3月期3Q	6,597,780 株

※当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業務予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 2019年3月期の期末配当予想額につきましては、業績動向等を見極めつつ検討することとしており、配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

(株式併合後の連結業績予想について)

当社は、2018年6月28日開催の第153回定時株主総会および普通株式にかかる種類株主総会において、株式併合について承認可決され、2018年10月1日付で普通株式10株について1株の割合で株式併合を行っております。なお、株式併合考慮前に換算した2019年3月期の連結業績予想は以下のとおりとなります。
2019年3月期の連結業績予想
1株当たり当期純利益 通期 74銭

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	円	円	円	円
2018年3月期	—	0.00	—	10.53	10.53
2019年3月期	—	0.00	—		
2019年3月期（予想）				10.63	10.63

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境が改善するなど緩やかな回復基調にあるものの、海外の貿易摩擦問題等により、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のもと、当社は繊維各部門において機能レーヨンの国内外の販売強化に取り組むとともに、繊維事業以外の事業展開を図ってまいりました。繊維部門は高付加価値製品の販売に注力してまいりましたが、原材料のコストアップやそれに伴う価格転嫁などの問題等により減収減益となりました。不動産部門は売上高、営業利益とも微減ながら堅調に推移しました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は売上高7,366百万円(前年同四半期比0.3%減)となり、営業利益は162百万円(前年同四半期比32.0%減)となりました。経常損益につきましては為替差損207百万円の計上等もあり、239百万円の損失(前年同四半期は経常利益100百万円)となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は257百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益77百万円)となりました。

なお、当社は可食セルロース食品の事業化に着手するため、2018年7月、食料品製造加工販売を営む株式会社宇美フーズ(福岡県糟屋郡宇美町)を買収しました。来年度以降、本格的な生産を開始し、食品事業の領域に事業を拡大して参ります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①繊維

繊維部門につきましては、原材料のコストアップに対する価格転嫁などの問題や売上の減少等により減収減益となりました。この結果、繊維部門全体では売上高は5,966百万円(前年同四半期比2.6%減)と減収となり、セグメント利益は44百万円(前年同四半期比71.3%減)となりました。

②不動産

不動産部門につきましては、売上高828百万円(前年同四半期比3.8%減)、セグメント利益566百万円(前年同四半期比5.3%減)となりました。

③その他

その他部門につきましては、売上高571百万円(前年同四半期比44.1%増)、セグメント損失59百万円(前年同四半期は44百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、社債償還等に伴う現金及び預金の減少や、売上債権の減少等により、前連結会計年度末に比べ67百万円減少し、26,846百万円となりました。負債は借入金の増加等により前連結会計年度末に比べ159百万円増加し、21,122百万円となりました。また、純資産は前連結会計年度末に比べ226百万円減少し、5,724百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年5月11日に発表いたしました連結業績予想から変更ありません。また、2019年3月期の期末配当につきましては引き続き未定と致します。配当金額が決定しだい速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,199	1,107
受取手形及び売掛金	1,348	1,210
製品	1,609	1,701
仕掛品	96	98
原材料及び貯蔵品	449	453
その他	176	238
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	4,878	4,806
固定資産		
有形固定資産		
土地	19,565	19,620
その他(純額)	2,024	2,008
有形固定資産合計	21,589	21,628
無形固定資産	153	209
投資その他の資産		
その他	445	328
貸倒引当金	△169	△138
投資その他の資産合計	275	189
固定資産合計	22,019	22,027
繰延資産		
社債発行費	16	12
繰延資産合計	16	12
資産合計	26,914	26,846

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,835	1,869
短期借入金	1,386	8,060
1年内償還予定の社債	210	210
未払法人税等	11	18
引当金	119	45
その他	766	640
流動負債合計	4,329	10,843
固定負債		
社債	485	380
長期借入金	8,266	2,036
繰延税金負債	5,426	5,436
役員退職慰労引当金	123	100
環境対策引当金	77	77
退職給付に係る負債	846	886
その他	1,407	1,360
固定負債合計	16,633	10,278
負債合計	20,963	21,122
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,205	3,205
資本剰余金	2,724	2,724
利益剰余金	1,863	1,452
自己株式	△4	△4
株主資本合計	7,788	7,377
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8	7
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	△1,844	△1,659
その他の包括利益累計額合計	△1,836	△1,652
純資産合計	5,951	5,724
負債純資産合計	26,914	26,846

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	7,385	7,366
売上原価	5,759	5,841
売上総利益	1,626	1,524
販売費及び一般管理費	1,387	1,361
営業利益	239	162
営業外収益		
受取利息	10	4
受取配当金	1	1
貯蔵品売却益	38	—
その他	52	46
営業外収益合計	102	52
営業外費用		
支払利息	162	171
為替差損	9	207
その他	69	76
営業外費用合計	241	455
経常利益又は経常損失(△)	100	△239
特別利益		
関係会社株式売却益	1	—
特別利益合計	1	—
特別損失		
固定資産廃棄損	2	—
特別損失合計	2	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	98	△239
法人税、住民税及び事業税	22	7
法人税等調整額	0	10
法人税等合計	22	18
四半期純利益又は四半期純損失(△)	76	△257
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	77	△257

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	76	△257
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	△1
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	4	185
その他の包括利益合計	8	184
四半期包括利益	84	△73
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	84	△73
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	繊維	不動産	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,128	860	6,989	396	7,385	—	7,385
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	6,128	860	6,989	396	7,385	—	7,385
セグメント利益又は損失(△)	153	598	751	△44	707	△467	239

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェア開発・販売、園芸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△467百万円には、セグメント間取引消去15百万円及び各報告セグメントに配賦していない全社費用△483百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	繊維	不動産	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,966	828	6,794	571	7,366	—	7,366
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	5,966	828	6,794	571	7,366	—	7,366
セグメント利益又は損失(△)	44	566	610	△59	551	△388	162

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェア開発・販売、園芸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△388百万円には、セグメント間取引消去16百万円及び各報告セグメントに配賦していない全社費用△404百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。